

製品取扱い説明書



この度は、当社の製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に必ずこの取扱い説明書をお読み頂き、正しくお使いください。

製品を末永くご愛用頂き、また事故防止などの安全のために「安全上のご注意」と「取扱い上のご注意」、別添の「使用上のご注意」を必ずお守りください。

取扱い説明書は必ずご使用時にいつでも読むことができるように大切に保管してください。

NKB d

家庭用品品質表示法に基づく表示

外形寸法 幅 900mm x 奥行 550mm x 高さ 740mm

表面材 天然木突板

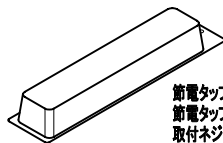
表面加工 ウレタン樹脂塗装

- 取扱い上の注意
- イ. 直射日光または熱を避けてください。
 - ロ. 加熱したなべ、湯沸し等を直接置かないで下さい。
 - ハ. 著しい汚れを落とす場合は、うすめた中性洗剤を使用して下さい。

製造元 小島工芸 株式会社
03-3674-2251

原産国 日本製

●付属部品



節電タップ×1
節電タップ内両側
取付ネジ×2
樹脂ワッシャー×2

安全上のご注意

ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載しておりますので、必ず守ってください。

ご使用前には、必ずこの「安全上のご注意」と別添の「ご使用上のご注意」をお読みになり、正しくお使いください。



警告

誤った取扱いをした時に、死亡や重症などに結びつく可能性があるもの。

節電タップは合計 1500w(ワット) 以下でお使いください。

容量を越えると焼損の恐れがあります。(火災の原因)

節電タップの使用はパッケージ裏の「安全上のご注意」を必ずお読みになり、ご使用ください。

安全上のご注意をお守り頂けない場合、火災や感電の恐れがあります。



注意

誤った取扱いをした時に、障害または家屋・家財の障害に結びつくもの。

節電タップの固定作業は、必ず大人の方が慎重に行ってください。

製品に傷をつけたり、コンセントを破損する事があります。

節電タップの固定は下穴のある箇所以外には取り付けしないでください。

製品に傷をつけたり、破損をする事があります。

引出しの開閉には十分に注意してください。

手をはさんで思わぬケガをする事がございます。

引出しを引出した状態の上へのぼったり、ぶら下がったりしないでください。

転倒してケガをしたり、故障や破損の原因になります。

取扱説明書

節電タップの固定位置

取り付けは**必ず大人の方が慎重**に行ってください。

デスクの背板及び天板下大棚板には固定用の下穴が開いております。

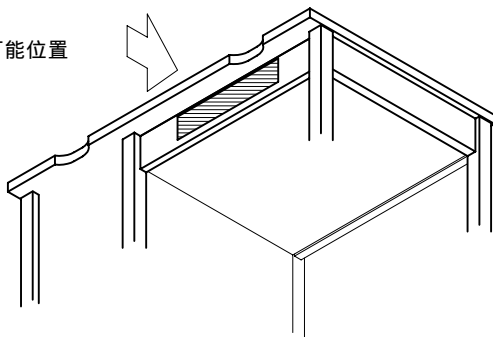
下穴が開いている以外の場所には固定をしないで下さい。

節電タップは、節電タップ内付属の「コンセントタップの掛け方」に従って固定してください。

大棚板への取り付けの際は差込口が「下」を向く為、ACアダプターの重さによっては抜けやすくなる事があります。

抜けて接触不良を起こしたり、落下してケガをしたり、床を傷つける恐れがありますので、大棚板へ固定した際は、ACアダプターをご使用にならないで下さい。

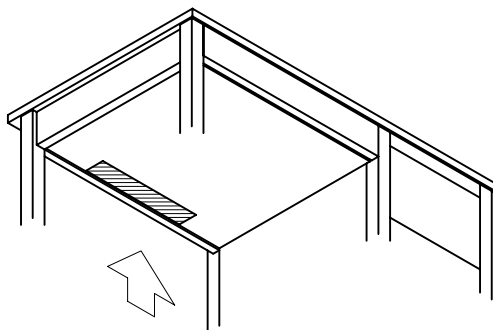
デスク背板側固定可能位置



デスク天板下大棚板側固定可能位置

ACアダプターの使用はしないでください。

アダプター抜けて接触不良を起こしたり、落下してケガをしたり、床に傷を付ける恐れがあります。



(斜線部に節電タップが固定できます。)

袖引出しストッパー解除の方法

～安全上のご注意～

引出しを外したり収納する際は、**必ず大人2人以上**で慎重に行ってください。

デスクを転倒させてケガをしたり、床、壁等や製品を傷つけたりすると危険ですので十分注意をして行ってください。

引出しのレールには、移動時等に不必要な開閉を防止するストッパー機能がついています。

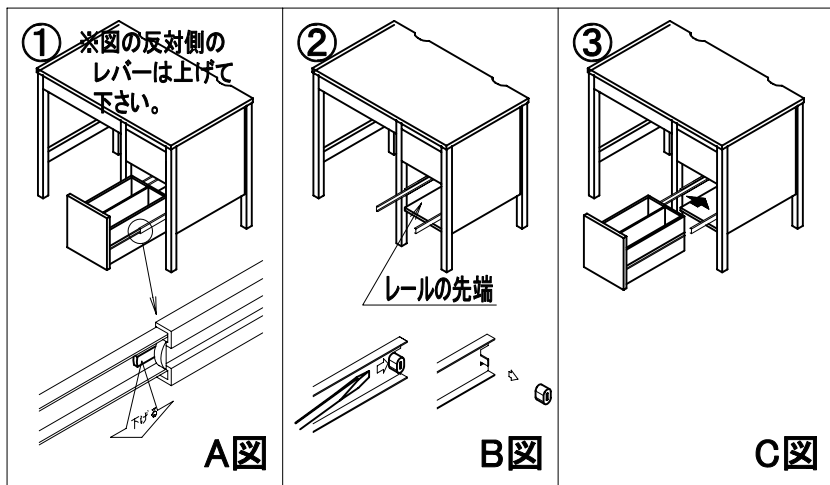
ご使用中、引出しの出し入れが重いと感じられる様な事がありましたら、下記の要領にてストッパー機能を解除する事により解消する事ができます。

上下段共通

引出しを全開にして、両側にあるスライドレールのA図のレバーを右側は下げ、左側は上げた状態のまま、引出しを引き出して外してください。

次に本体内部左右に付いているスライドレールの後部(奥)にある「ストッパー(ゴム)」の根元に図のようにマイナス(-)ドライバー等を差し込んで外してください。この時、ケガをしたり製品にキズをつけたりしない様、慎重に行ってください。

最後にC図の様に本体内部に付いているレールに引出しの左右に付いているレールを平行になる様に差し込んでください。ピッタリとはまりましたら、そのまま多少強めに押し込んで引出しを元通りに収納すれば完了です。押し込む際にはレールの構造上、多少きつくなっておりますのでケガをしない様、慎重に行ってください。



コンセントタップの掛け方

本体に開いているコンセントタップ固定用下
穴に付属のネジへ付属の樹脂製ワッシャー
の向きに注意して、右画像の様に通し、プ
ラス(+)ドライバーでネジを締め付けます。

締め付けは樹脂製ワッシャーが動かなくなる
まで締めて下さい。

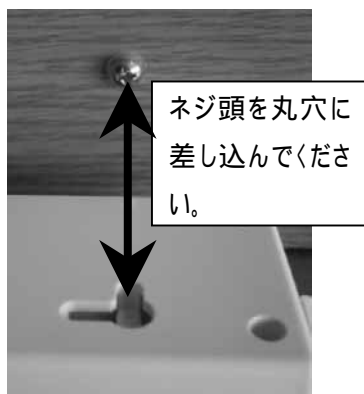
この時、樹脂製ワッシャーをつぶさない様に
締めて下さい。(右画像参照)

～注意～

ネジを締めすぎて樹脂製ワッシャーを潰して
しまうと、コンセントタップを固定する事ができ
なくなります。

コンセントタップの裏側に開いている「フック
掛け用の穴(丸い部分)」2ヶ所をねじ込
んだネジ頭に合わせ、穴に差し込みます。

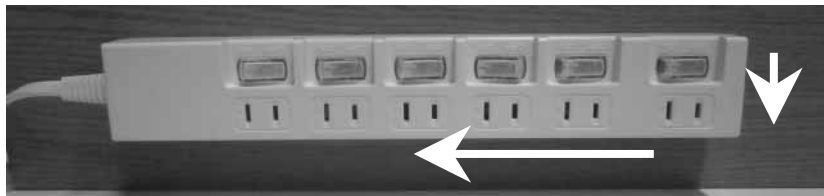
(右・下の画像参照)



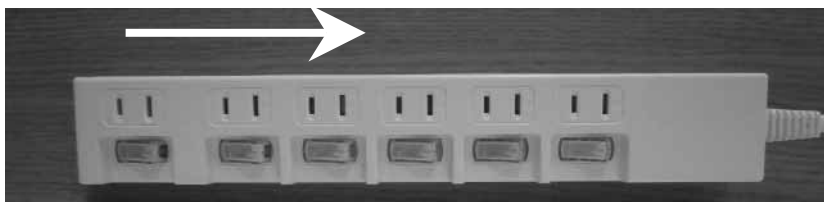
差し込んだらコンセントタップをスライドさせて完了となります。

スライドする方向はコンセントタップの向きで異なります。

下の画像をご参照下さい。



スイッチが上になる向きの場合、下もしくは左にスライドをさせることでコンセントタップを固定する事ができます。



スイッチが下になる向きの場合、右にのみスライドさせることでコンセントタップを固定する事ができます。

～注意～

- ・コンセントタップは「フック掛け用の穴」にネジ頭を差込み、上記の様にスライドさせることでネジ頭がフック掛け用の穴に掛かり、外れにくくなります。必ずスライドをさせてください。
- ・天板下の大棚板への取り付けの際には、上記の画像を確認しながら2方向のいずれかにてスライドさせて、固定してください。

その際、差込み口が”下“を向く為、ACアダプターの重さによっては抜けやすくなる事があります。落下してケガをしたり、床を傷付ける恐れがあります。ACアダプターをご使用になる際には、天板下の大棚板への取り付けは行わないで下さい。